

令和2年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



四季の森

11月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

運動会からみえる子どもの成長

副校長 梅田 佳美

10月13日に運動会が行われました。今年度初めての全校行事でした。

学校生活の中で行事を通して学ぶことの大きさを子どもたちの取り組む姿から、あらためて感じる運動会でした。今年はコロナ感染防止の観点から競技も各学年工夫を凝らした種目となりました。

高学年はラグビーリレーという団体競技に取り組みました。ラグビーボールをパスして友だちにつなぎ、相手チームより早く全員に回して勝つという競技です。相手チームより早くゴールするために「パスをするときに声をだそう」や「並び順を工夫しよう」など5年生も6年生もクラスの仲間と話し合い知恵を出し合い考える姿がたくさん見られました。放課後練習に来る子どもたちもい



ました。考えたことを実際にやってみて、さらに練習を重ね、全力で取り組む。その中で達成感も得られたことと思います。しかしそれ以上に相手を取りやすいパスをだしたり、声をかけあって相手と息をそろえたりすることで相手を思いやることの大切さを学んだのではないのでしょうか。1、2年生のバサバサ玉入れはシートに玉を投げ入れ相手チームはそのシートを揺らしてシートに玉が残らないようにする競技です。はじめはうまくシートを揺らすことができず、玉がたくさんシートに残っていました。本番は見事なチームワークでシートを操り、玉を跳ね上げて外にとばしていました。

この時の感動はきっと子どもたちの心に残ったことでしょう。そして、みんなで気持ちを一つにすることの大切さを、身をもって感じたのではないのでしょうか。また、全校演技で揃って踊る姿も感動



的でした。特に3・4年生の縄跳びの演技の場面では練習を重ね変わっていく姿がよくあらわれていました。その揃った姿は一人ひとりが一生懸命練習してきた成果のあらわれです。休み時間などに友だちとなわとびを練習する姿を見かけました。また、「家で音楽をかけてもらいながら練習したよ。」という話も

聞きました。運動会当日までにどんな頑張りがあったのか、よくわかります。大切なのは運動会当日までに自分がどんなことをがんばってきたのか。当日、その力を出し切ることができたのか。行事を通して自分自身で実感するものだと思います。そのことが自信となり成長につながります。

今年度は、これまで通りがなかなか難しいですが、日々の学校生活の中で少しでも子どもたちの成長につながる活動ができるようにこれからも工夫していきたいと思います。保護者、地域の皆様の温かい励ましがより一層子どもたちの成長につながりますので、これからも変わらずご支援よろしくをお願いします。